

農業関係者の皆様へ



代表理事  
水光 正仁  
(宮崎大学副学長)

食の安全分析センターは平成27年にスタートし、今年で7年目になります。残留農薬分析といえば、マイナスなイメージが浮かぶかもしれませんが、しかし、当センターの強みである、「結果の最短翌日報告」を活かせば、当センターに収穫前の農産物を持ち込んで、残留農薬がないことを確認して収穫、販売するというリスク管理ができます。ポジティブに残留農薬分析してみませんか？

「宮崎産」安全に  
残留農薬分析で貢献する

# 食の安全分析センター3つの強み！

早い！

最短翌日報告!!

高カバー！

ハウレンソウ  
県内主要な産地使用農薬成分  
のうち80%分析可能!!

信頼！

宮崎県と(株)島津製作所の共同設立!!  
最新の宮崎県総合農業試験場の残留農薬分析技術を活用!!



アドバイザー  
馬場 健史  
(九州大学教授)



技術課長  
酒井 美穂  
(大阪大学大学院工学博士)  
宮崎県から派遣



佐土原で  
やっちよるよ！

一般社団法人

## 食の安全分析センター

☎ (0985)45-0328 FAXも同番号

営業時間 平日 8:30~17:00

〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂5805  
宮崎県総合農業試験場管理棟 3階

✉ info@cfsa.or.jp

https://cfsa.or.jp/



食の安全分析センター 🔍



# 分析方法



切断



粉碎



抽出



測定



翌日  
結果報告

食の安全分析センターでは、宮崎県総合農業試験場が開発した優れた残留農薬・機能性成分分析技術を活かして、県内農産物の「安全性」「機能性」の見える化を行っています。

食の安全  
分析センター

宮崎県総合農業試験場

## 優れた技術の活用

### 活用例①

**翌日結果報告**が可能な  
**迅速分析法**の技術移転

一般的に残留農薬分析や、機能性成分分析は作業工程が煩雑なため、結果を出すのに時間がかかります。そこで、総合農業試験場は短い分析時間、かつ十分な精度が確保された分析法を開発しました。それらは現在センターに技術移転され、分析結果の**翌日回答**を実現しています。

### 活用例②

**多くの農薬成分**  
を分析可能な技術の移転

農薬成分は水に溶けやすいものと、油に溶けやすいものの2種類に分けられます。一般に、これら2つは別々の分析装置で測定します。しかし、当センターでは、これら2つを**同時に**測定することができる優れた分析機器を導入し、受託分析の効率化や、県内使用農薬成分を多くカバーできるよう総合農業試験場と協力して取り組んでいます。

etc . . .

## ※1 分析メニュー

### 残留農薬検査

約400成分一斉分析

※2 **県民価格：35,000円** (税込)

通常価格：55,000円 (税込)

作物によって400成分を前後します

### 機能性成分検査

ルテイン・β-カロテン

16,500円 (税込)

※1 価格は予告なく変更する場合があります。

※2 依頼者が宮崎県在住、農産物が宮崎県内産の両方を満たす場合に限りです。